

## 『連結会計入門(第6版)』正誤表

- ◆132 頁 株主資本等変動計算書において、P社資本金の当期首残高  
400,000 → 600,000 となります。

- ◆174 頁 上から 11 行目以降

け差異が生じるが、これらのうち、利益増加額は将来 S 社株式を売却した時に課税される将来加算一時差異であり、反対に、のれん償却額は将来減算一時差異であるから、繰延税金負債  $[(40,000 - 1,440) \times 0.4 = 15,424 \text{ 円}]$  を計上する。

(借) 法人税等調整額 15,424	(貸) 繰延税金負債 15,424
--------------------	-------------------

- ◆179 頁 (2) の解答について (解答は弊社ホームページの本書案内欄にあります)

\* のれんの償却年数が 20 年で計算されているが、問題文では 10 年の償却と  
しているため、解答における仕訳は次のとおりとなります (解答頁では 7  
頁の、下の 3 つの仕訳)。

(借) のれん償却 3,000	(貸) のれん 3,000
(借) S社株式 37,500	(貸) 少数株主持分 34,000
損益修正 3,250	のれん 6,750

(注) 2014 年 3 月に、連結財務諸表規則等の改正がありますが、問題文は改正前のままとしています。